

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】令和3年8月12日(2021.8.12)

【公開番号】特開2021-97671(P2021-97671A)

【公開日】令和3年7月1日(2021.7.1)

【年通号数】公開・登録公報2021-029

【出願番号】特願2021-15026(P2021-15026)

【国際特許分類】

C 1 2 N	15/11	(2006.01)
C 1 2 N	1/21	(2006.01)
C 1 2 N	15/63	(2006.01)
A 6 1 K	35/745	(2015.01)
A 6 1 K	38/02	(2006.01)
A 6 1 K	48/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 K	35/744	(2015.01)
A 6 1 P	1/04	(2006.01)
A 6 1 P	19/10	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)

【F I】

C 1 2 N	15/11	Z
C 1 2 N	1/21	Z N A
C 1 2 N	15/63	Z
A 6 1 K	35/745	
A 6 1 K	38/02	
A 6 1 K	48/00	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 K	35/744	
A 6 1 P	1/04	
A 6 1 P	19/10	
A 6 1 P	29/00	

【手続補正書】

【提出日】令和3年5月18日(2021.5.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

グラム陽性細菌において活性な遺伝子間領域を含む組換え核酸であって、前記遺伝子間領域が前記グラム陽性細菌に対して外因性の遺伝子の5'末端に結合されて、前記遺伝子間領域が前記外因性の遺伝子に作動可能に連結しており、前記遺伝子間領域が、

a) 配列番号1～13のいずれか1つの配列を含む核酸、または配列番号1～13のいずれか1つの配列からなる核酸、

b) 配列番号1、2および8のいずれか1つの配列と比較して、1つのミスマッチまたは1つのヌクレオチドの欠失もしくは挿入を含む核酸、

c) 配列番号3～4および配列番号9～10のいずれか1つの配列と比較して、1つ

、2つもしくは3つのミスマッチまたは1つ、2つもしくは3つのヌクレオチドの欠失もしくは挿入を含む核酸、または

d) 配列番号5～7および配列番号11～13のいずれか1つの配列と比較して、1つ、2つ、3つもしくは4つのミスマッチまたは1つ、2つ、3つもしくは4つのヌクレオチドの欠失もしくは挿入を含む核酸

である、組換え核酸。

【請求項2】

前記遺伝子間領域が、前記グラム陽性細菌の1つ以上の内因性の遺伝子間領域から選択される、請求項1に記載の組換え核酸。

【請求項3】

前記グラム陽性細菌がラクトコッカス・ラクティス(*Lactococcus lactis*)である、請求項1または2のいずれかに記載の組換え核酸。

【請求項4】

請求項1～3のいずれか1項に記載の組換え核酸を含むベクター。